

教科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2単位	学年(コース)	4学年
使用教科書	帝国書院『新地理総合』・『新詳高等地図』				
副教材等	帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE2025』・『新地理総合ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

2 学習目標

<p>社会的事象の地理的見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力育成を目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、生活文化の多様性や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。</p>

3 指導の重点

<p>① 地球規模で自然や社会・経済のシステムを理解し、システムとして地理的事象をとらえることと、情報社会で生き抜く力として、情報の収集と読み取り・分析する力の育成。</p> <p>② 習得した概念を活用して多面的・多角的に考察することができる能力(コンピテンシー)を育成する。</p> <p>③ よりよい社会の実現を視野に地球的、地域的課題を意欲的に追究しようとする態度の育成。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 観察、実験、式やグラフでの表現の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 <p>などから、評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>

6 学習計画

月	単元名	授業時数	学習活動(指導内容)	評価方法
4	第1部地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム ① 地球上の位置と時差 ② 地図の役割と種類	6	<ul style="list-style-type: none"> 地軸の傾きや自転・公転による影響を理解します。 地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考えます。 地図には様々な種類が存在することを理解します。 地球を平面の地図では性格に表現できないことを理解し、地図の種類に応じた用途の多様性を考えます。 私たちの生活には様々な地図が利用されていることを理解します。 多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用の可能性を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの確認 授業態度 課題提出

5	第2章 結びつきを深める現代世界 ①現代世界の国家と領域 ②グローバル化する世界	7	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の領域や国境はどのように定まっているか理解する。 ・日本の位置や領域について理解し、排他的経済水域の重要性について考えます。 ・国家間の様々な結びつきとその役割について理解します。 ・国際分業と産業の変化について考えます。 ・世界の貿易と様々な地域経済圏について理解します。 ・交通手段の多様性とその長所・短所について理解し、交通手段の発達によって生活の変化を考えます。 ・ICT(通信情報技術)の発達について理解し、この発達による生活の変化と生じた課題について考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの確認 ・授業態度 ・課題提出
6	中間考査	1		
	第2部国際理解と国際協力 第1章生活文化の多様性と国際理解 ①世界の地形と人々の生活 ②世界の気候と人々の生活	7	<ul style="list-style-type: none"> ・大地形(変動帯含)や小地形(山地, 平野, 海岸など)で生活する人々の生活を理解します。 ・気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考えます。 ・大気の大循環によって生じる気圧帯について理解します。 ・熱帯, 乾燥帯, 温帯, 亜寒帯, 寒帯の気候の特徴を理解し、それぞれの気候区での特徴ある土壌・植生が人々の生活に及ぼす影響を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの確認 ・授業態度 ・課題提出
7	③世界の言語・宗教と人々の生活 ④歴史的背景と人々の生活	4	<ul style="list-style-type: none"> ・世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、様々な宗教が信仰されていることを理解します(言語・宗教分布含)。 ・言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているか考えます。 ・世界各地の多様な環境の下で育まれた生活文化は様々な出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきたことを理解する。 ・歴史的背景が人々の生活文化にどのような影響を与えてきたか考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの確認 ・授業態度 ・課題提出
	探究活動	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に課題を設定し、資料を収集・分析し意見をまとめている。 	レポート

9	⑤世界の産業と人々の生活 ・アメリカ ・東アジア ・ヨーロッパ	6	<ul style="list-style-type: none"> ・人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきたことを理解します。 ・産業の発展(農業・工業・グローバル化)によって、人々の生活はどのように変化してきたかを考えます。 ・三地域の産業の発展とその影響を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの確認 ・授業態度 ・課題提出 ・朝テスト
	期末考査	1		
10	第2章地球的課題と国際協力 ①複雑に絡み合う地球的課題 ②地球環境問題 ③資源エネルギー問題	8	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的課題は様々な要因が複合的に絡み合っていることを理解する。 ・環境問題の発生が、人間の活動(生産・消費活動)によって引き起こされていることを理解します。 ・環境問題の解決に向けた取り組みを考えます。 ・資源やエネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解します。 ・新興国のエネルギー需要増加の現状を理解し、資源をめぐる対立が生じる要因を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの確認 ・授業態度 ・課題提出 ・朝テスト
11	④人口問題 ⑤食料問題 ⑥都市居住問題	7	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口分布を概観し、人口増加の傾向や人口構成も、国や地域によって異なっていることを理解する。 ・世界には、国や地域によってどのような人口問題があり、どのような対策が行われ、この対策の成果や課題を考えます。 ・食料問題が生じる背景について理解します。 ・地域で異なる食料問題への取り組みについて理解します。 ・世界の都市の発達を概観し、途上国・先進国の背景を理解します。 ・地域(途上国 先進国)で異なると都市・居住問題への取り組みの違いを考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの確認 ・授業態度 ・課題提出 ・朝テスト
	中間考査	1		

12	<p>第3部持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章自然環境と防災</p> <p>① 日本の自然環境</p> <p>② 地震・津波と防災</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形の特徴を理解し、その特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを理解します。 日本の気候の特徴を理解し、地域差がどのように生じているかを理解します。 プレート境界地震とプレート内地震の違いについて理解し、震源の位置や土地の条件によって引き起こされる被害の違いがあることを理解します。 過去の災害の記録が今後の災害の軽減につながることを理解し、ハザードマップを利用して身近な地域の自然災害の可能性を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの確認 授業態度 課題提出 朝テスト
1	<p>③ 火山災害と防災</p> <p>④ 気象災害と防災</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島において火山活動が活発な理由と火山活動に伴う災害の種類を理解します。 火山活動が関係する様々な恵みを理解し、火山と共生する地域の取り組みを理解する。 季節によって発生しやすい気象災害とその特徴について理解します。 季節によって発生しやすい気象災害の要因・影響について考えます。 気象災害のメカニズムを理解し、どのような場所が被害を受けやすいかを考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの確認 授業態度 課題提出 朝テスト
	探究活動	3		レポート
2	<p>⑤ 自然災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> 減災の取り組み 被災地への支援 	4	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害への日頃の備えには、どのようなものがあるかを理解し、その備えにより被害を軽減できる事を理解します。 大規模災害への対応について、自助・共助・公助の視点からどのようなことが行われているかを理解します。 これまでの災害の教訓生かし、特に、自助・共助に関して、どのような対策を講じていくべきか考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの確認 授業態度 課題提出 朝テスト
	期末考査	1		

3	第2章生活圏の調査と地域の展望 ①生活圏の調査と地域の展望	6	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の情報を得るための様々な手段と注意点を理解します。 ・身近な地域で生じている課題の要因を様々な角度から分析し、仮説を設定します。 ・野外調査の目的に応じた方法を理解し、現地調査を実施する。 ・地域調査のまとめ方について理解します。 ・調査結果に応じた、まとめ方や発表形式を選択し、身近な地域の課題解決に向けた発表の準備をし、発表を行う。 	発表内容
---	----------------------------------	---	--	------

計73時間(48分授業)

6 課題・提出物等

- ・ 週末課題, レポート等

7 担当者からの一言

この科目は、世界の諸事象の規則性や傾向性を理解し、その習得した知識で多面的・多角的に考察したり、地域に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想し、行動できる人材を育成します。同時に学びの過程で、我が国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することができる人間に成長し、よりよい社会の構築、並びに世界の平和の実現にむけて考え、行動できる日本国民としての自覚を醸成することを目指しています。大いに学び、大いに考えや意見を述べ合い、楽しく実りある時間にしていきましょう。

(担当 伊藤 健士)